

デザインツールとしてのアプリケーション「iroe」の開発事業

松本 奈緒子
佐賀県窯業技術センター

肥前窯業圏における磁器の特色である上絵付け(色絵、赤絵)と下絵付け(染付け)の「色」と、その色を用いて行う「デザイン」に着目し、産地内で実際に使用されている絵具の色を用いたカラーデザインや絵付けデザインを行うことができるアプリを開発した。今後、商品開発の効率化や産業の活性、伝統デザインの継承と進化へつながることを期待している。

Development of "iroe" application as a design tool

MATSUMOTO Naoko
Saga Ceramics Research Laboratory

Focusing on the "colors" of overglaze painting (iroe and akae) and underglaze painting (sometsume), which are characteristics of porcelain in the Hizen ceramics area, and the "designs" made using these colors, we developed an application that enables color and painting designs using the colors of paints used in the production area. We hope that this application will lead to more efficient product development, revitalization of the industry, and the inheritance and evolution of traditional design.

1. はじめに

肥前窯業圏の磁器には様々な特色があるが、器面に絵付けが施されることや、その絵具の色や文様は大きな特色のひとつである。陶磁器の絵具の色は、焼成の工程を経るため全体的に彩度の高い色が少なく、一般的なインク等のバリエーションと比較すると、色数は少ない。しかし、むしろ深みのある色や伝統的なルーツに基づいた色のバリエーションによって、そのデザイン性や加飾表現が強調され、この産地の磁器のブランド性や価値をつくる大きな要因となっているともいえる。

当センターでは、以前、絵具の色という点に着目し、産地におけるカラーデザインの利便性を向上させることを目的として、肥前窯業圏において扱われている無鉛上絵具の色について、バリエーションの分析とデータベース化の研究を行った¹⁾。その後、カラーチャートやカラーサンプルを制作し、産地における商品開発のデザイン工程や製造工程において活用していただくために、産地関係者に対して資料の提供を行ってきた。しかしながら、紙媒体での配布やデータを提供するだけでは効率性に限界があることもわかってきた。一方、色の情報を提供するだけでなく、その色を用いた伝統文様による加飾サンプルも

提案できないものかと考えた。そこで、本事業では、加飾文様のデザインという専門的な領域のハードルを少し下げて、様々なデザインが生み出し易くなるツールを作ることを目的として、一般ユーザー向けのアプリケーションの開発を行った。

2. アプリ開発の概要

事業企画、色データ・資料提供：窯業技術センター
開発委託先：ピノー株式会社
アプリ名称：iroe(いろえ)
リリース日：令和5年4月1日
対応デバイス：Android 及び iOS
アプリ価格：無料



図1 アプリアイコンイメージ。

3. 主な搭載コンテンツ内容

3.1 色見本

色見本は、産地内で使用されている上絵具(無鉛上絵具)は48色をそれぞれ3段階の濃度で調合した計144色について、また下絵具(呉須)は7色をそれぞれ3段階の濃度で調合した計21色について、各色の表示、絵具名、絵具メーカー名、色のRGB値等を掲載した(図2~5)。アプリ内ではお気に入りフォルダに色を登録することができ、ユーザー独自のカラーパレットを作成することができる仕様とした。

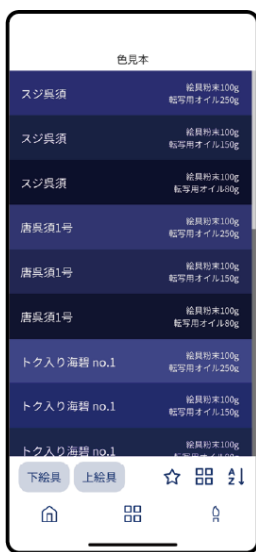


図2 下絵具(呉須)色見本画面

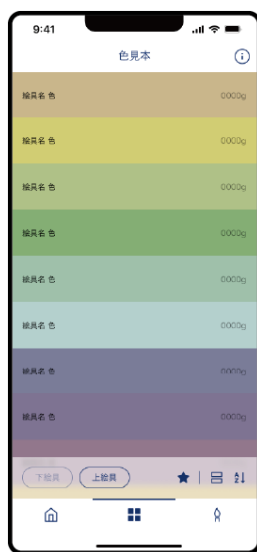


図3 上絵具色見本画面 1.

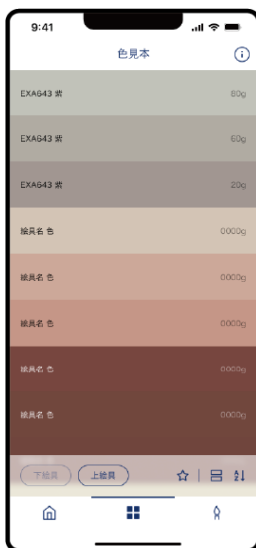


図4 上絵具色見本画面 2.



図5 上絵具詳細画面

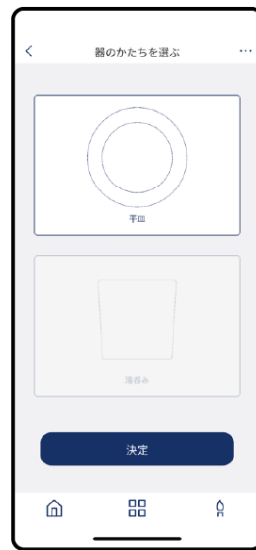


図6 形状選択画面

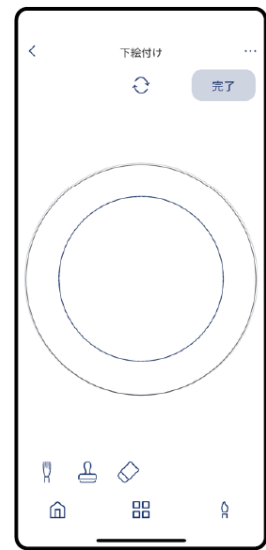


図7 絵付け画面



図8 筆の種類を選択画面

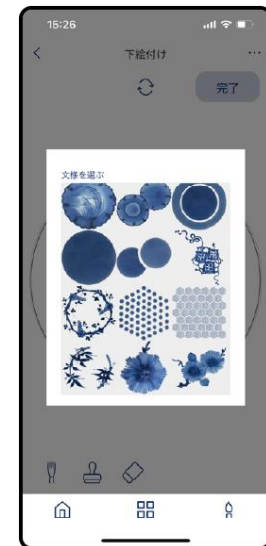


図9 伝統文様(下絵)の選択画面

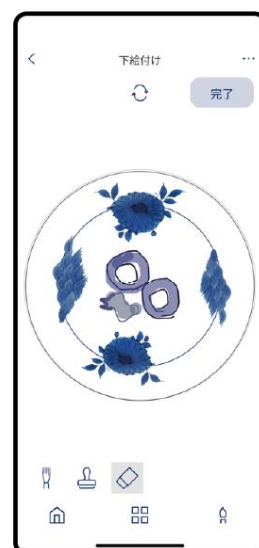


図10 描画中の画面



図11 伝統文様(上絵)の選択画面

3.2 絵付け体験

色見本コンテンツ内で掲載している色を使用して、画面上で下絵付けと上絵付けそれぞれのデジタル絵付けやデザインができる機能を搭載した。器の形状として2種(皿、カップ)から選択し、その器面上の表と裏にそれぞれ絵付けを行うことができる(図6~7)。筆の太さは2種(線描き用、だみ筆)から選択し、一定程度複雑な絵柄の描写が可能となるようにした(図8)。

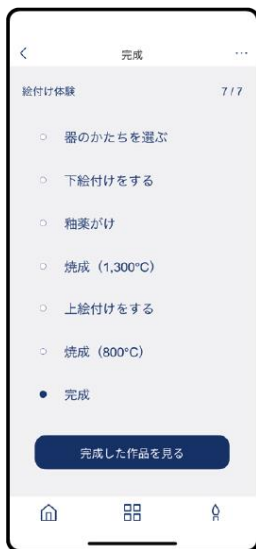


図12 工程の表示画面



図13 釉掛けの説明画面

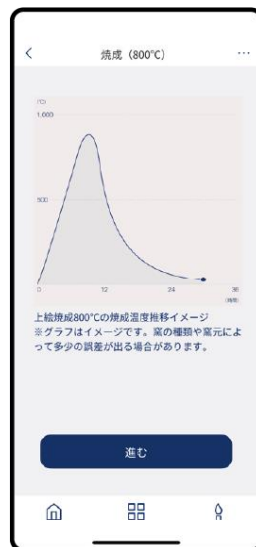


図14 焼成温度のイメージ画面



図15 作品完成画面

また、スタンプ機能として、伝統文様の下絵付け 24 種類、上絵付け 14 種類から選択して自由に配置できる機能を搭載した(図9~11)。伝統文様は、佐賀県立九州陶磁文化館所蔵の収蔵品から作品を選定し、1点ずつ撮影し

て画像編集ソフトで文様部分の切り取り作業を行い画像データの作成を行った。

各絵付け工程は、作品の完成まで実際の磁器製品の製造工程に沿って、下絵付け、上絵付けの順に進み、各工程の間には釉掛け、本焼成、上絵焼成等の解説場面が表示され(図12~14)、磁器製造の一連の流れを体感できる内容となっている。

4. まとめ

本事業では、肥前窯業圏内で実際に使用されている絵具の色を用いたカラーデザインや絵付けデザインを行うためのアプリケーション開発を行った。絵具の情報や絵付け機能をアプリ化することにより、ツールとしてより手軽に活用することができ、絵具の情報へのアクセスや簡単なデザイン作業を容易に行うことが可能となった。また、一般ユーザーが利用することで、産地におけるものづくりへの関心が増すことや興味を持つきっかけになることを期待している。今後は、コンテンツの充実や改善を行い、さらに産業の発展へとつなげるための運用を進めていきたい。

※アプリのダウンロード URL

Android:



<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.pino.iroe>

iOS:



<https://apps.apple.com/jp/app/いろえ/id1669667403>

参考文献

- 1) 松本奈緒子他, 佐賀県窯業技術センター平成30年度研究報告書・支援事業報告書, 6-10 (2019).